

# 明日香村

## 地域福祉計画・地域福祉活動計画



平成30年3月  
明日香村  
社会福祉法人 明日香村社会福祉協議会

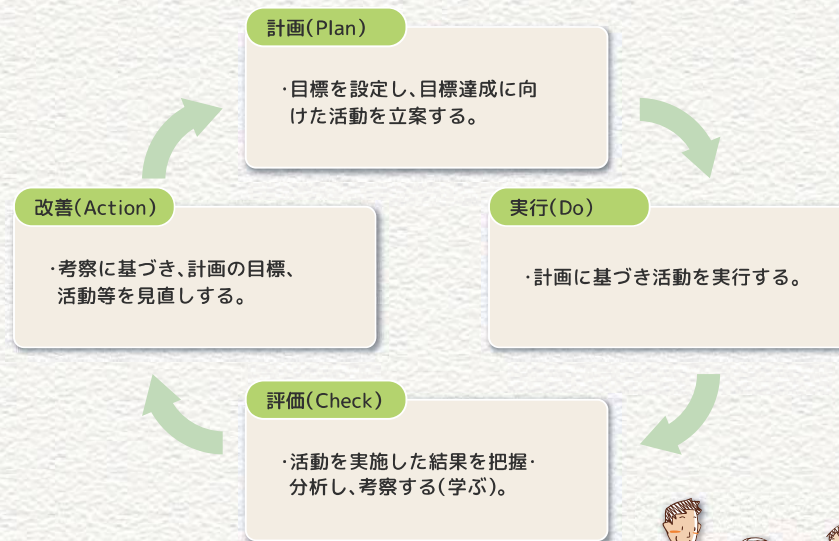
### 5 計画の期間と進行管理

本計画の計画期間は、平成30年度から平成39年度までの10年間とします。なお、国、奈良県等の動向を踏まえるとともに、社会情勢の変化や関連計画との調整を考慮して、必要に応じて5年ごとに見直しを行います。

計画の推進に当たっては、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域をつくるため、村民をはじめ、各大字総代や民生委員・児童委員、障害者団体、ボランティア、地域包括支援センター、社会福祉協議会と行政など地域に関わる様々な人々と連携し、本計画の推進を図ります。

計画を適切に進行するため、PDCAサイクルを実施します。また、関連計画などを策定している村の関係部局とも連携を図りながら、推進体制の整備と計画の点検・評価を「(仮称)評価委員会」を設置して行っていきます。

#### 【PDCAサイクルの考え方】



明日香村地域福祉計画・地域福祉活動計画  
平成30年3月 発行

明日香村 千634-0111 奈良県高市郡明日香村大字岡55番地 TEL:0744-54-2001 FAX:0744-54-2440  
社会福祉法人明日香村社会福祉協議会 千634-0143 奈良県高市郡明日香村大字立部745番地 TEL:0744-54-2740 FAX:0744-54-2740

# 1 どうしてこの計画を 策定したの？

～計画策定の背景と趣旨～

少子高齢化の進行や、家庭や地域におけるつながりの希薄化など、社会情勢の変化に伴って地域課題が多様化・複雑化しています。そのため、公的サービスのみでは解決できない問題が増えています。これらの様々な問題を解決していくためには「村民一人ひとりの力」そして、行政をはじめ社会福祉協議会や各種事業所、各大字総代や老人会などの地縁団体、民生児童委員協議会といった各種団体など、様々な地域の担い手がタッグを組むことで生まれる「地域の力」が必要となっています。

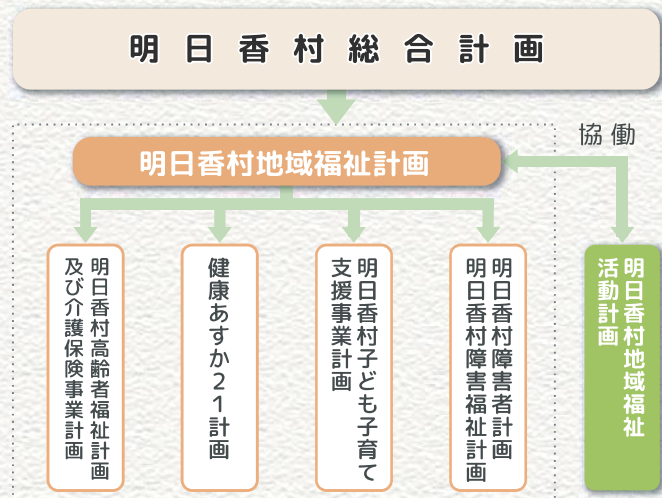
この計画は、村民一人ひとり、そして、様々な地域の担い手が一つの大きな家族のように同じ方向を向いて取り組みを進められるよう、方向性や役割などを示す指針として策定しています。

# 2 計画の位置づけ

「地域福祉計画」は、明日香村が行政計画として策定し、保健・福祉分野の総合計画として位置づけています。

「地域福祉活動計画」は、明日香村社会福祉協議会が、住民主体の地域福祉活動を推進するために、課題を明確にして、問題解決に向けた実践の計画として位置づけています。

そして、行政と社会福祉協議会が、同じ理念や方向性を持ちながら協働して地域福祉を推進するために、地域福祉計画と地域福祉活動計画を一体的に策定しています。



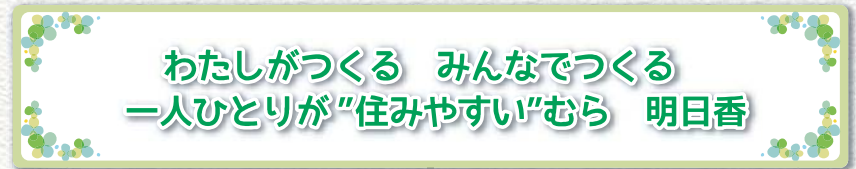
# 3 基本理念

明日香は、日本文化の始まりの地として、古代の人々から築いてきた文化の上に成り立っています。地域福祉を推進する中で様々な団体等との連携において、これらの明日香の魅力ある生活文化や資源を十分に活用して施策を推進することが大切となります。

そして、村民一人ひとりが地域の問題に関心を持ち、活動を広げていくことで“住みやすい”幸せを感じることができる暮らしを次世代へ受け継いでいくことができると考えています。

これらのことから、計画の基本理念を『わたしがつくる みんなでつくる 一人ひとりが“住みやすい”むら 明日香』としています。

【基本理念】



**1 つながり  
を深めよう**

【中目標1】  
一人ひとりが福祉への理解を深めよう

【中目標2】  
子どものころから地域や福祉にふれられる環境をつくっていこう

**2 地域の活動  
を広げよう**

【中目標3】  
生き生きとした生活を送るため健康づくりの輪を広げよう

【中目標4】  
身近な地域における福祉活動を推進していこう

【中目標5】  
様々なボランティア活動・住民活動を推進していこう

**3 安心できる  
生活支援の  
仕組みを  
つくろう**

【中目標6】  
誰もが安心して生活できる仕組みをつくっていこう

【中目標7】  
地域ではどのような福祉ニーズがあるのか常に目を向けていこう



# 4 施策の展開

わたしができること・みんなができること

わたしがつくる みんなでつくる 一人ひとりが “住みやすい”

## 大目標1 つながりをも 深めよう



■あいさつや声掛けなどの 近所づきあい



■地域の一人暮らし高齢者 や障害者の生活を手助け



■隣近所で声を掛けあい、 世代間などの交流



■地域福祉について話し 合える場

## 大目標2 地域の活動を 広げよう



■地域活動やボランティア 活動への関心と参加



■地域の居場所づくり (ふれあいいきいきサロン活動)



■地域の見守りなど

### 中目標3 生き生きとした生活を送るため健康 づくりの輪を広げよう

- ①活動促進の仕組みづくり (生活支援コーディネーターの充実)
- ②ふれあいいきいきサロンの充実
- ③予防活動・健康づくりの輪の拡大

### 中目標4 身近な地域における福祉活動を推進 していこう

- ①地域福祉に必要な人材の育成
- ②見守り、声掛け、生活支援の仕組みづくり

### 中目標5 様々なボランティア活動・住民 活動を推進していこう

- ①ボランティアへの参加のきっかけづくり
- ②活動に必要な情報提供の充実
- ③広域的なボランティア活動の取り組み

## 行政・社会福祉協議会の取り組み

### 中目標1 一人ひとりが福祉への理解を深めよう

- ①情報提供・啓発活動の推進
- ②地域活動の参加による福祉への理解の促進

### 中目標2 子どものころから地域や福祉に ふれられる環境をつくっていこう

- ①学校や福祉施設での体験学習や多様な 人々(高齢者、障害者)との交流
- ②ボランティアの体験学習、福祉体験学習



# 「むら 明日香」



気軽に相談してくださいね!

■地域の中での相談



■日頃からの緊急時への備え

## 大目標3 安心して生活支援の仕組みをつくる



■困っている人への相談



■地域の課題など

### 中目標6 誰もが安心して生活できる仕組みをつくっていこう

- ①身近な相談やわかりやすい情報提供
- ②生活課題を抱える人の早期発見、早期対応
- ③防災・防犯対策における地域自主活動への支援
- ④安全・安心なまちづくり  
(生活環境の整備、人権尊重と権利擁護)
- ⑤保健・医療・福祉サービス提供団体等との連携

### 中目標7 地域ではどのような福祉ニーズがあるのか常に目を向けていこう

- ①生活困窮等の制度の狭間の問題について  
地域での情報交換、連携促進
- ②地域での問題解決に向けた仕組みづくりの研究

